

# 保健センター空調改修工事

図 面 リ ス ト

No.	図 面 名 称	縮 尺	No.	図 面 名 称	縮 尺
M－ 00／13	表紙、図面リスト	--	E－ 01／07	電気設備工事特記仕様書（１）	--
M－ 01／13	機械設備工事特記仕様書（１）	--	E－ 02／07	電気設備工事特記仕様書（２）	--
M－ 02／13	機械設備工事特記仕様書（２）	--	E－ 03／07	幹線設備 既設分電盤改造結線図	--
M－ 03／13	配置図、附近見取図	１：５００	E－ 04／07	動力設備 １階平面図（改修後）	１：１００
M－ 04／13	冷暖房設備 機器表（改修後）	--	E－ 05／07	動力設備 ２階平面図（改修後）	１：１００
M－ 05／13	冷暖房設備 １階平面図（改修後）	１：１００	E－ 06／07	動力設備 １階平面図（撤去）	１：１００
M－ 06／13	冷暖房設備 ２階平面図（改修後）	１：１００	E－ 07／07	動力設備 ２階平面図（撤去）	１：１００
M－ 07／13	冷暖房設備（二次側電気） １階平面図（改修後）	１：１００			
M－ 08／13	冷暖房設備（二次側電気） ２階平面図（改修後）	１：１００			
M－ 09／13	冷暖房設備 機器表（撤去）	--			
M－ 10／13	冷暖房設備 １階平面図（撤去）	１：１００			
M－ 11／13	冷暖房設備 ２階平面図（撤去）	１：１００			
M－ 12／13	冷暖房設備（二次側電気） １階平面図（撤去）	１：１００			
M－ 13／13	冷暖房設備（二次側電気） ２階平面図（撤去）	１：１００			

機 械 設 備 工 事 仕 様 書

I. 工 事 概 要

1 工 事 場 所 琴浦町大字徳万

2 建 物 概 要

番 号	建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備 考
1	保健センター	RC	2	854.88	( 1 ) 項 口	
2					( ) 項	
3					( ) 項	
4					( ) 項	
5					( ) 項	

3 工 事 種 目 ( ◎ 印の付いたものが対象工事種目 )

工事種目 \ 番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
● 空 気 調 和 設 備							
◎ 冷 暖 房 設 備	○						
● 換 気 設 備							
● 排 煙 設 備							
● 自 動 制 御 設 備							
● 衛 生 器 具 設 備							
● 給 水 設 備							
● 排 水 設 備							
● 給 湯 設 備							
● ガ ス 設 備							
● 浄 化 槽 設 備							
● 消 火 設 備							
● さ く 井 設 備							

4 設 備 概 要 ( 本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。 )

◎ 印の付いたものを適用する。

	項 目	設 備 概 要
空 気 調 和 ・ 冷 暖 房 設 備	● 空 気 調 和 設 備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
	◎ 冷 暖 房 設 備	● ファンコイルユニット方式 ◎ パッケージ方式
	● 暖 房 設 備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 ( ● 局所式 ● 中央式 ) ● 床暖房
	◎ 熱 源	◎ 電気 ● 灯油 ● A 重油 ● ガス ● バイオマス
	◎ 主 要 熱 源 機 器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直だし吸収式冷水機 ● 小形吸収式冷水機ユニット ● バイオマスボイラー ◎ ヒートポンプパッケージエアコン ● ルームエアコン ● 温風暖房機 ● F F 暖房機 ● ペレットストーブ
換 気 設 備	● 換 気 設 備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
	排 煙 設 備	● 機械排煙 ( 適用法規 ● 建基法 ● 消防法 )
	自 動 制 御 設 備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
	● 給 水 設 備	給 水 方 式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水 源 ● 水道水 ● 井水
	● 排 水 設 備	排 水 方 式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 ( ● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水 ) 放 流 先 汚 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 雨 水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川 浄 化 槽 処 理 方 式 ● 小規模合併 ● 合併 処 理 水 放 流 先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
衛 生 設 備	● 給 湯 設 備	● 局所式 ( ● ガス ● 油 ● 電気 ) ● 中央式 ( ● 油 ● ガス )
	● 消 火 設 備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火 ( ● 窒素 ● 窒素系 ) ● ハロゲン化物消火
	● ガ ス 設 備	● 都市ガス ( MJ / Nm3 ) ● 液化石油ガス

II. 特 記 仕 様

1 一 般 事 項

( 1 ) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて ◎ 印の標準仕様等による。

◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成 3 1 年版）」（以下「標準仕様書」という。）

◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成 3 1 年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）

◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成 3 1 年版）」（以下「標準図」という。）

( 2 ) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（令和元年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。

( 3 ) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

( 1 ) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。

( 2 ) 特記事項のうち選択する事項は ◎ 印の付いたものを適用する。

◎ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。 ◎ 印と ※ 印の付いた場合は両方を適用する。

( 3 ) 一般共通事項のうち ( ) 項は、 ● 建築 ● 電気設備 工事仕様書による。

一 般 共 通 事 項

	項 目	特 記 事 項																																																																																					
①官公署その他への手続 ②電 気 保 安 技 術 者	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。 電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。																																																																																						
	引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り ( ) 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ( ● 配管用保温材 ● ) アスベスト含有設備資機材（ガスケット、パッキン、たわみ継手等）は関係法令に従い適切に処理を行う。 再生資源の利用を図るもの ※ 無し ● 有り ( ● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ) ● 建設発生木材 ● )																																																																																						
	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用权は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領（平成24年版）・同解説 建築設備編」及び監督職員の指示による。下記のものを提出する。																																																																																						
④施 工 図 等 ⑤完 成 写 真 等	<table><tr><th>区 分</th><th>分 類 ・ 規 格</th><th>撮 影 箇 所</th><th>部 数</th><th>電子データ・ネガの提出</th></tr><tr><td>工 事 写 真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種工程毎</td><td>※ 1 部 ● 部</td><td>●要 ● 不要</td></tr><tr><td>完 成 写 真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※ 2 部 ● 部</td><td>●要 ● 不要</td></tr></table>	区 分	分 類 ・ 規 格	撮 影 箇 所	部 数	電子データ・ネガの提出	工 事 写 真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1 部 ● 部	●要 ● 不要	完 成 写 真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2 部 ● 部	●要 ● 不要																																																																							
	区 分	分 類 ・ 規 格	撮 影 箇 所	部 数	電子データ・ネガの提出																																																																																		
工 事 写 真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1 部 ● 部	●要 ● 不要																																																																																			
完 成 写 真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2 部 ● 部	●要 ● 不要																																																																																			
⑥完 成 図 等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。 <table><tr><th>区 分</th><th>名 称</th><th>部 数</th></tr><tr><td>※ 完 成 図 原 図</td><td>完成図 ※ 原紙 ◎ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ</td><td>1 部</td></tr><tr><td>※ 完 成 図 2 つ折製本</td><td>◎ 完成図原図の陽面複写紙 ◎ 完成図原図の陽面複写紙（縮小版） ◎ 施工図原図の陽面複写紙</td><td>※ 1 部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 完 成 図 ● A 4 版黒表紙製本 ※ A 4 版市販ファイル</td><td>※ 完成図原図の陽面複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書</td><td>※ 1 部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保守用説明書 ( A 4 版ファイル )</td><td>※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表</td><td>※ 1 部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保 証 書</td><td></td><td>1 部</td></tr><tr><td>※ 官公署の届出書類</td><td></td><td>1 部</td></tr></table>	区 分	名 称	部 数	※ 完 成 図 原 図	完成図 ※ 原紙 ◎ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ	1 部	※ 完 成 図 2 つ折製本	◎ 完成図原図の陽面複写紙 ◎ 完成図原図の陽面複写紙（縮小版） ◎ 施工図原図の陽面複写紙	※ 1 部 ● 部	※ 完 成 図 ● A 4 版黒表紙製本 ※ A 4 版市販ファイル	※ 完成図原図の陽面複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 1 部 ● 部	※ 保守用説明書 ( A 4 版ファイル )	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 1 部 ● 部	※ 保 証 書		1 部	※ 官公署の届出書類		1 部																																																																	
区 分	名 称	部 数																																																																																					
※ 完 成 図 原 図	完成図 ※ 原紙 ◎ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ	1 部																																																																																					
※ 完 成 図 2 つ折製本	◎ 完成図原図の陽面複写紙 ◎ 完成図原図の陽面複写紙（縮小版） ◎ 施工図原図の陽面複写紙	※ 1 部 ● 部																																																																																					
※ 完 成 図 ● A 4 版黒表紙製本 ※ A 4 版市販ファイル	※ 完成図原図の陽面複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 1 部 ● 部																																																																																					
※ 保守用説明書 ( A 4 版ファイル )	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 1 部 ● 部																																																																																					
※ 保 証 書		1 部																																																																																					
※ 官公署の届出書類		1 部																																																																																					
⑦技 能 士 の 適 用	下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。また、そのものが技能士であることが分かる名札を常時着用すること。 ● 配管 ( ● 1 級 ● 2 級 ) ● 熱絶縁施工 ( ● 1 級 ● 2 級 ) ◎ 冷凍空調調和機器施工 ( ● 1 級 ◎ 2 級 ) ● 建築板金 ( ● 1 級 ● 2 級 )																																																																																						
⑧他 工 事 と の 取 合	合併工事の場合は工種区分とする。 <table><tr><th colspan="2">他工事との取り合い</th><th>建 築</th><th>電 気 設 備</th><th>機 械 設 備</th></tr><tr><td rowspan="2">● コンクリート壁、床、梁貫通部</td><td>スリーブ・箱入</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>補 強</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td colspan="2">● 鉄骨造の開口及び補強</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td colspan="2">● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td></tr><tr><td colspan="2">● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td></tr><tr><td rowspan="2">● 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強</td><td>仮 枠</td><td>●</td><td>※</td><td>●</td></tr><tr><td>補 強</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td colspan="2">● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td rowspan="2">◎ 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強</td><td>切 り 込 み</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>補 強</td><td>※</td><td>●</td><td>◎</td></tr><tr><td colspan="2">● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td colspan="2">● 電気室、自家発電室などの基礎及びビット（蓋を含む）</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td colspan="2">◎ 天井点検口</td><td>※</td><td>●</td><td>◎</td></tr><tr><td rowspan="2">● 機器類のコンクリート基礎</td><td>屋 内 ・ 屋 外 設 置</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>屋 上 設 置</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td colspan="2">● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td colspan="2">◎ 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr></table>	他工事との取り合い		建 築	電 気 設 備	機 械 設 備	● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入	●	●	※	補 強	※	●	●	● 鉄骨造の開口及び補強		※	●	●	● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		●	※	●	● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		●	※	●	● 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠	●	※	●	補 強	※	●	●	● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	●	●	◎ 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 り 込 み	●	●	※	補 強	※	●	◎	● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	●	●	● 電気室、自家発電室などの基礎及びビット（蓋を含む）		※	●	●	◎ 天井点検口		※	●	◎	● 機器類のコンクリート基礎	屋 内 ・ 屋 外 設 置	●	●	※	屋 上 設 置	※	●	●	● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	●	※	◎ 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		●	●	※
他工事との取り合い		建 築	電 気 設 備	機 械 設 備																																																																																			
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入	●	●	※																																																																																			
	補 強	※	●	●																																																																																			
● 鉄骨造の開口及び補強		※	●	●																																																																																			
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		●	※	●																																																																																			
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		●	※	●																																																																																			
● 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠	●	※	●																																																																																			
	補 強	※	●	●																																																																																			
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	●	●																																																																																			
◎ 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 り 込 み	●	●	※																																																																																			
	補 強	※	●	◎																																																																																			
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	●	●																																																																																			
● 電気室、自家発電室などの基礎及びビット（蓋を含む）		※	●	●																																																																																			
◎ 天井点検口		※	●	◎																																																																																			
● 機器類のコンクリート基礎	屋 内 ・ 屋 外 設 置	●	●	※																																																																																			
	屋 上 設 置	※	●	●																																																																																			
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	●	※																																																																																			
◎ 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		●	●	※																																																																																			

一 般 共 通 事 項

工事用水、電力	本工事に必要な工事用水、電力などの費用はすべて請負者の負担とする。																																																										
⑩表示板	設ける。（建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。） ※ 工事表示板 ● お願い表示板 記入要領等は監督職員の指示による。																																																										
⑪工事用仮設物	構内に作ることが ● 出来る ● 出来ない																																																										
12土工事	(ア) 埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土（ ● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類 ） ● 山砂の類（ 屋外土中給水管の周囲 ） ● 真砂土（ ） (イ) 建設発生土処分 ● 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積																																																										
13耐震措置	「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成 8 年版」（建設大臣官房官庁営繕部監修）によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・（独）建築研究所監修）による。 設計用水平地震力は、機器の荷重（kN）に、地域係数、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 図面に特記のない場合、設計用標準水平震度は次による。																																																										
	<table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">● 特定の施設</th><th colspan="2">● 一般の施設</th></tr><tr><th>● 重要機器</th><th>● 一般機器</th><th>● 重要機器</th><th>● 一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">屋上、塔屋</td><td>機 器</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>防振設置機器</td><td>2. 0</td><td>2. 0</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td rowspan="3">中 間 階</td><td>機 器</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td>防振設置機器</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td rowspan="3">地階・1 階</td><td>機 器</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td><td>0. 6</td><td>0. 4</td></tr><tr><td>防振設置機器</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr></table> 重要機器 ● 防災機器 ● 火気を使用する機器 ● タンク類 注）設計用鉛直地震力は水平地震力の 1／2 とし、水平地震力と同時に働くものとする。	設置場所	機器種別	● 特定の施設		● 一般の施設		● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器	屋上、塔屋	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	防振設置機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5	水 槽 類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	中 間 階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	防振設置機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	地階・1 階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4	防振設置機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
設置場所	機器種別			● 特定の施設		● 一般の施設																																																					
		● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器																																																						
屋上、塔屋	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																																						
	防振設置機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5																																																						
	水 槽 類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																																						
中 間 階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																						
	防振設置機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0																																																						
	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																						
地階・1 階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4																																																						
	防振設置機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6																																																						
	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																						
⑭図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。																																																										
⑮電気容量及び機器表示	電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。																																																										
⑯保温工事	● 冷温水管（ ● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● ） ● 蒸気管（ ● ロックウール ● グラスウール ● ） ● 給水管（ ● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● ） ◎ 排水管（ ● ロックウール ◎ グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● 保温ふぶ 10t ） ● 給湯管（ ● ロックウール ● グラスウール ● 保温ふぶ 10t ） ● 消火管（ ● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● ） ● ダクト（ ● ロックウール ● グラスウール ● ） ● 燃焼熱源等機械室内の配管（ ● ロックウール ● グラスウール ） ● 全熱交換機の給気ダクト（ ● 機器外気側 ● 機器室内側 ）は保温（グラスウール2.5mm厚）する。 ◎ 冷媒管の保温外装 屋内（ ● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ● SUS銅板 ） 屋外（ ● 樹脂製化粧ケース ◎ SUS銅板 ● ）																																																										
17鋼管類の防食処置	地中埋設 ● ベトロラム系 ● ブチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート																																																										
18絶縁継手	● 標準図 施工 3（ ● (1) 絶縁フランジ ● (2) 絶縁シート ）																																																										
19防振継手	※ 合成ゴム製（球形） ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形（ステンレス製）																																																										
20伸縮管継手	※ ベローズ形 ● スリープ形																																																										
21塗装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。） (ア) 埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） (イ) 垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面 (ウ) 垂鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分 (エ) 垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類 (オ) 樹脂コーティング等施したもので、常時隠べいされる部分 (カ) カラー垂鉛鉄板面 (キ) アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウムー垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面 (ク) 特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面 (ケ) 主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管 ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所（ 保温を行わない露出鋼管外面 ）																																																										
22ステンレス鋼管の接合方法	呼び径75mm以上の継手は ● 溶接継手 ● ハウジング形継手 ● フランジ接合																																																										
23溶接配管の検査	● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管 非破壊検査の適用（ ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ） 抜 取 率（ ● 標準仕様書による ● % ）																																																										
24埋設表示	● 地中埋設標を図示する箇所に設ける。 ● 埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ● 屋外給水管 ● ）																																																										
⑮支持金物・固定金具	ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。 屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。																																																										
⑯総合調整	下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ◎ 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水质（ ● 一般飲料水適否検査 ● ）																																																										

一般共通事項

27 アスベスト含有建材の処理

建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。  
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。  
※ 官公事その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。  
● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。  
分析方法は「I S A 1 4 8 1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。  
● アスベスト粉じん濃度測定を行う。  
（測定時期： 測定場所： 測定点： ）  
● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。  
● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。  
工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。  
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。  
● 鉄筋探査を行う（超音波）。  
足場の設置は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」（厚労省 基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て等の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり置置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。  
建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。  
実施する。  
工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするための火災保険等に参加する。  
（保険の加入期限は、工事完成引渡しまでとする。）  
グリーン購入は次のものとする。  
● 空調用機器（エアコン）  
● 断熱材（ ）  
● 衛生器具（ ）  
● 配管材（ ）  
● 再生硬質塩化ビニル管  
対象工事  
対象工事

31 工事安全計画書等  
32 室内空気中の化学物質の濃度測定  
33 火災保険等  
34 グリーン購入  
35 鳥取県公共工事環境配慮指針  
36 省エネ法

1 空気調和設備

2 冷暖房設備

3 換気設備

21 冷温水管の空気抜き

空気漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。  
※ 手動 ● 自動  
自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工36（g））  
機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。  
トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製  
材質及び厚さ ● SS400（※ 3. 2mm ● 4. 5mm ） ● SUS（※ 1. 5mm ● 2. 0mm）  
煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける  
煤じん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ● 取付けない  
油面計はゲージ式（側圧計）とする。  
据付け方法は標準図 ● 施工30（二重殻タンク・タンク室無し） ● 施工31（タンク室有り）  
タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト  
基礎杭 ※ 不要 ● 要（※ 別途工事 ● 本工事）  
土留め工事 ● 要 ● 不要  
タンクローリー用アース端子を設ける。  
油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●  
● 機器表特記による。  
● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。  
インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。  
標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。  
※ 亜鉛鉄板製 ● 銅板製（厚1.6mm）  
形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形  
取付け ● 天井取付 ● 壁取付  
電気式（遠隔操作 ※ 不要 ● 要）  
建築設備定期検査業務基準書平成20年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。  
● 有り（構成機能は、図示による） ● 無し  
● 要（ ● 本工事 ● 別途工事 ） ● 不要  
取付高さ ※ 1300mm ● mm  
● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。  
● 天井隠べいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。

22 空調機用トラップ  
23 銅板製煤煙道

24 オイルサービスタンク  
25 地下オイルタンク

4 排水設備

5 自動制御設備

6 衛生器具設備

7 給水設備

8 排水設備

9 給湯設備

10 消火設備

2 冷水管試験継手  
3 バイパスシャフト内配管の保温  
4 煤煙試験

1 配管材料  
2 弁類

1 配管材料  
2 弁類  
3 保温

4 屋内消火栓箱  
5 ガス系消火剤の種類  
6 ガス系消火の起動方式

12 浄化槽設備

1 処理種別及び方式  
2 型式  
3 処理能力  
4 放流水の水質  
5 排水方式  
6 埋戻し土  
7 土留め工事  
8 マンホールふた  
9 消毒薬

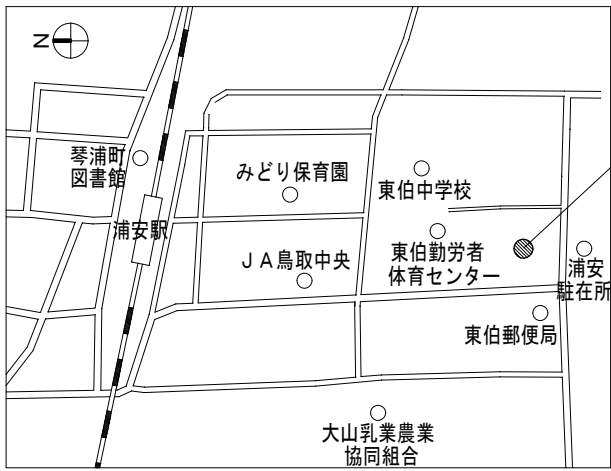
● 小規模合併処理（ ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式（ ） ）  
● 合併処理（ ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転接触方式 ）  
● ユニット型 ● 現場施工型  
● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m3/d  
● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下  
● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下  
※ 自然流下 ● ポンプ排水  
● 砂 ● 根切土の中の良質土  
● 不要 ● 要（図示による）  
※ 製造者標準仕様（ロック式） ● MHA型（ボルト式）  
3ヶ月相当分を納入する。

〔Ⅲ〕機材等  
この工事に使用する機材は下記に記載されているものの他、同等品以上とする。  
設計図書の製品番号は、特定の製品を限定しない。  
同等品以上とする場合には、同等品承諾願いを提出し監督員の承諾を得ること。

品名	メーカー名
1. 管・継手材料 (1) 管 材料 (2) 継手材料 (3) 伸縮継手 (4) 可とう継手・防振継手 2. 弁 類 3. 衛生器具及び付属品 4. ポンプ類 (1) うず巻きポンプ・多段ポンプ (2) 水中ポンプ (3) 電動真空給水ポンプ 5. 水槽（FRP・銅板・ステンレス） 6. 消火器具 (1) 消火栓 (2) 炭酸ガス消火装置 (3) スプリンクラー消火・泡消火 7. 排水金物 8. マンホール蓋 9. 銅製ボイラー・温水ヒーター 10. 鉄製ボイラー 11. F F ファンヒーター 12. エアコン 13. ガスヒーター 14. 冷凍機等 (1) 往復動冷凍機 (2) 遠心冷凍機 (3) 吸収冷温水機 15. 冷却塔 16. 空気調和機 (1) ファンコイルユニット型 (2) ユニット空気調和機型 17. 放熱器 18. 放熱器弁・トラップ・減圧弁・温度調節弁 19. 空調用自動制御機器・制御盤 20. 吹出口・吸込口・ダンパ 21. 製缶類 22. 送風機・換気扇 23. ガス器具（湯沸し器類） 24. 厨房機器 25. 尿浄化槽（汚水処理施設） 26. 水処理装置 27. メーター類 28. 全熱交換機 29. タンク付属部品・レベルメーター 30. グリーストラップ 31. 熱交換機 32. 床暖房 33. 塩ビ製樹	J I Sマーク表示品・水マーク表示品 J I Sマーク表示品・水マーク表示品 テクノフレックス ゼンシン 東洋バルブ 荏原 テラル 川本 日立 テクノフレックス キッツ 東洋バルブ L I X I L T O T O 荏原 テラル 川本 日立 荏原 テラル 川本 日立 荏原 川本 昭和 積水 日立 森松 N Y K西日本 西日本クリスタル 立売堀 能美 ホーチキ 能美 ホーチキ 立売堀 小島 ホーコス 小島 昭和 日本サーモエナジー 三浦 巴 前田 サンボット 日立 荏原 パナソニック（三洋） 昭和 日本サーモエナジー 三浦 巴 前田 ダイキン 三菱電機 サンボット パナソニック（三洋） 日立 ダイキン 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） 日立 東芝キャリア ダイキン 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） ヤンマー ダイキン 東芝キャリア 日立 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） ダイキン 東芝キャリア 日立 荏原 三菱重工 川重 矢崎 日立 荏原 パナソニック（三洋） 空研 東芝キャリア 日立 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） 矢崎 ダイキン 東芝キャリア 日立 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） 昭和 木村 前田 矢崎 ダイキン 東芝キャリア 日立 三菱電機 三菱重工 パナソニック（三洋） 昭和 木村 昭和 木村 前田 フシマン ベン 本山 ヨシタケ 山武 ジョンソン パナソニック（三洋） ホーコス 空研 木村 ホーコス 森松 前田 中国金属 テラル 荏原 パナソニック（三洋） 三菱電機 東芝キャリア ダイキン リンパイン パロマ ノーリツ パーパス L I X I L T O T O 中西 パナソニック（三洋） L I X I L タニコー マルゼン ホシザキ 福島 アムズ ダイキ L I X I L テラル 前田 日立 ノシロ ミウラ テラル 金門 愛知 東洋計器 矢崎 三菱電機 テラル 空研 パナソニック（三洋） 木村 ダイキン 工技研究所 ホーコス 日阪 木村 前田 三菱電機 パナソニック（三洋） ミサト アロン 積水

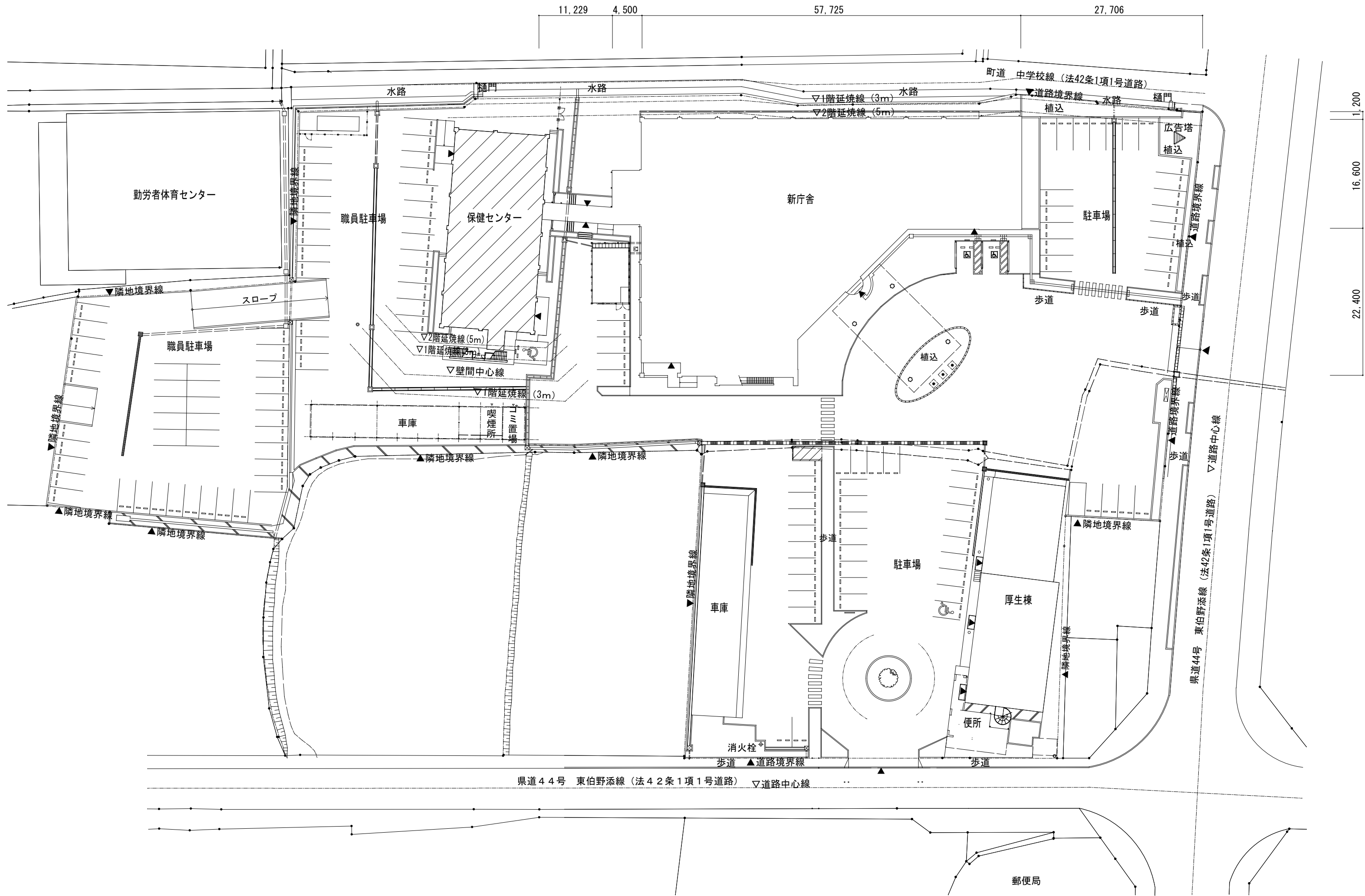
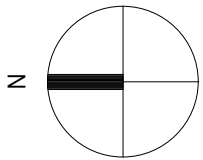
※ 送配電線の近くで作業をするときは、前もって中国電力へ連絡すること。  
※ 不許複製  
※ （一社）鳥取設備設計事務所協会 作成


	<div><div>有限会社 亀山設計</div><div>鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第30-1356号</div></div>	<div>CHECK</div> <div>DRAWING</div> <div></div>	縮尺 A2： -- 設計年月日 R 4 . 2	工事名称 保健センター空調改修工事 図面名称 機械設備工事特記仕様書（2）	図面番号 M - 2 / 13 NO
--	-------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------	----------------------------------	------------------------------------------------	--------------------------



附近見取図

工事場所：保健センター



※  は、今回工事対象範囲を示す。

配置図 S=1:500



有限会社 亀山設計  
鳥取県米子市両三柳724番地11  
一級建築士事務所 登録第30-1356号

CHECK

DRAWING

縮尺

A2: 1:500

設計年月日

R4.2

工事名称

保健センター空調改修工事

図面名称

配置図、附近見取図

図面番号

M-3  
13

冷暖房機器表

(改修後)

記 号	名 称	仕 様 ・ 付 属 品	数 量	備 考
PAC-101K	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	形式 4方向天井吊り形、ワイ同時運転（高調波対策仕様）	（1）	1階事務室1
（既 存）	（耐重塩害仕様）	冷房能力 28.0kW		品番：FDTV2803HPG3G
		暖房能力 31.5kW		
		圧縮機 3φ-200V × 4.7kW		
		付属品 平架台（溶融亜鉛めっき）、他付属品共		
AC-2	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	形式 天井カセット 4方向吹出形 ツインタイプ 280型（10HP）	1	1階調理実習室
（新 設）	（耐重塩害仕様）	冷房能力 28.0kW（14.0kW×2）（定格：25.0kW）		※参考圧縮機容量：7.3kW
		暖房能力 31.5kW（16.0kW×2）（定格：28.0kW）		参考品番：FDTV2804HPG5A
		定格消費電力 冷房：8.25kW 暖房：7.15kW		
		圧縮機 3φ-200V		
		付属品 ワイヤードリフト×1、ドレンアップ×2、自動昇降ハネ×2、		
		室外機転倒防止金具、室外機用鋼製架台300H（溶融亜鉛めっき仕上げ）、		
		架台据付用後打ちアナー×4、フタアップフィルム、他付属品共		
AC-3	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	形式 天井カセット 4方向吹出形 ツインタイプ 140型（5HP）	1	1階栄養相談室
（新 設）	（耐重塩害仕様）	冷房能力 14.0kW（7.1kW×2）（定格：12.5kW）		※参考圧縮機容量：3.0kW
		暖房能力 16.0kW（8.0kW×2）（定格：14.0kW）		参考品番：FDTV1405HPA5SA
		定格消費電力 冷房：3.35kW 暖房：3.25kW		
		圧縮機 3φ-200V		
		付属品 ワイヤードリフト×1、ドレンアップ×2、自動昇降ハネ×2、		
		室外機転倒防止金具、室外機用鋼製架台300H（溶融亜鉛めっき仕上げ）、		
		架台据付用後打ちアナー×4、他付属品共		
PAC-102K	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	形式 4方向天井吊り形	（1）	1階事務室2
（既 存）	（耐重塩害仕様）	冷房能力 8.0kW		品番：FDTV804H4
		暖房能力 9.0kW		
		圧縮機 3φ-200V × 1.8kW		
		付属品 平架台（溶融亜鉛めっき）、他付属品共		
AC-5	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	形式 床置形 224型（8HP）	1	1階ホール
（新 設）	（耐重塩害仕様）	冷房能力 22.4kW（定格：20.0kW）		※参考圧縮機容量：4.2kW
		暖房能力 25.0kW（定格：22.4kW）		参考品番：FDFVP2244H4AG
		定格消費電力 冷房：7.18kW 暖房：6.21kW		
		圧縮機 3φ-200V		
		付属品 リフト、室内機転倒防止金具、室外機転倒防止金具、		
		室外機用鋼製架台300H（溶融亜鉛めっき仕上げ）、フタアップフィルム、		
		木台（固定金具共）、架台据付用後打ちアナー×4、他付属品共		
AC-6	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	形式 天吊形 80型（3HP）	1	2階会議室（1）
（新 設）	（耐重塩害仕様）	冷房能力 8.0kW（定格：7.1kW）		※参考圧縮機容量：1.4kW
		暖房能力 9.0kW（定格：8.0kW）		参考品番：FDEV805H5SA
		定格消費電力 冷房：1.87kW 暖房：1.92kW		
		圧縮機 3φ-200V		
		付属品 ワイヤードリフト、室外機転倒防止金具、架台据付用後打ちアナー×4、		
		室外機用鋼製架台300H（溶融亜鉛めっき仕上げ）、ドレンアップ、		
		他付属品共		

記 号	名 称	仕 様 ・ 付 属 品	数 量	備 考
AC-7	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	形式 天吊形 63型（2.5HP）	1	2階会議室（2）
（新 設）	（耐重塩害仕様）	冷房能力 6.3kW（定格：5.6kW）		※参考圧縮機容量：1.2kW
		暖房能力 7.1kW（定格：6.3kW）		参考品番：FDEV635HA5SA
		定格消費電力 冷房：1.52kW 暖房：1.63kW		
		圧縮機 3φ-200V		
		付属品 ワイヤードリフト、室外機転倒防止金具、架台据付用後打ちアナー×4、		
		室外機用鋼製架台300H（溶融亜鉛めっき仕上げ）、リムーブフィルム、		
		ドレンアップ、他付属品共		
AC-8	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	形式 天井カセット 1方向吹出形 トリプル 224型（8HP）	2	2階大会議室
（新 設）	（耐重塩害仕様）	冷房能力 22.4kW（8.0kW×3）（定格：20.0kW）		※参考圧縮機容量：4.2kW
		暖房能力 25.0kW（9.0kW×3）（定格：22.4kW）		参考品番：FDTSPV2244HT5SA
		定格消費電力 冷房：6.83kW 暖房：6.24kW		
		圧縮機 3φ-200V		
		付属品 ワイヤードリフト×1、ドレンアップ×3、標準化粧ハネ×3、		
		下がり天井用吹出グリル（吹出グリル、取付枠、化粧ハネ共）×3、		
		室外機転倒防止金具、室外機用鋼製架台300H（溶融亜鉛めっき仕上げ）、		
		架台据付用後打ちアナー×4、室外機風向調整板×1、フタアップフィルム、		
		他付属品共		
AC-9	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	形式 天井カセット 1方向吹出形 80型（3HP）	1	2階個別相談室
（新 設）	（耐重塩害仕様）	冷房能力 8.0kW（定格：7.1kW）		※参考圧縮機容量：1.4kW
		暖房能力 9.0kW（定格：8.0kW）		参考品番：FDTSV805H5SA
		定格消費電力 冷房：2.04kW 暖房：2.25kW		
		圧縮機 3φ-200V		
		付属品 ワイヤードリフト、ドレンアップ、標準化粧ハネ、室外機転倒防止金具、		
		室外機用鋼製架台300H（溶融亜鉛めっき仕上げ）、		
		室外機風向調整板×1、架台据付用後打ちアナー×4、他付属品共		

※エアコンは、グリーン購入法調達基準適合品とする。

※表中の電気容量は製造者を特定しないが、電線サイズ、遮断器容量に変更が生じた場合は、受注者負担とする。

※パッケージエアコンの冷暖房能力は、JIS条件時の定格能力(最大時)を示す。

※備考欄の参考圧縮機容量は、図面番号M-1、II-2、一般共通事項15の記載によらず参考とする。

※インバーター搭載機器で、「JISC61000-3-2」の適用対象となる高調波発生機器以外の高調波発生機器に該当する場合は、採用メーカーの仕様により電力会社の規定に基づき計算を行い、必要に応じて高調波対策（アクティブフィルター設置）を行う事。

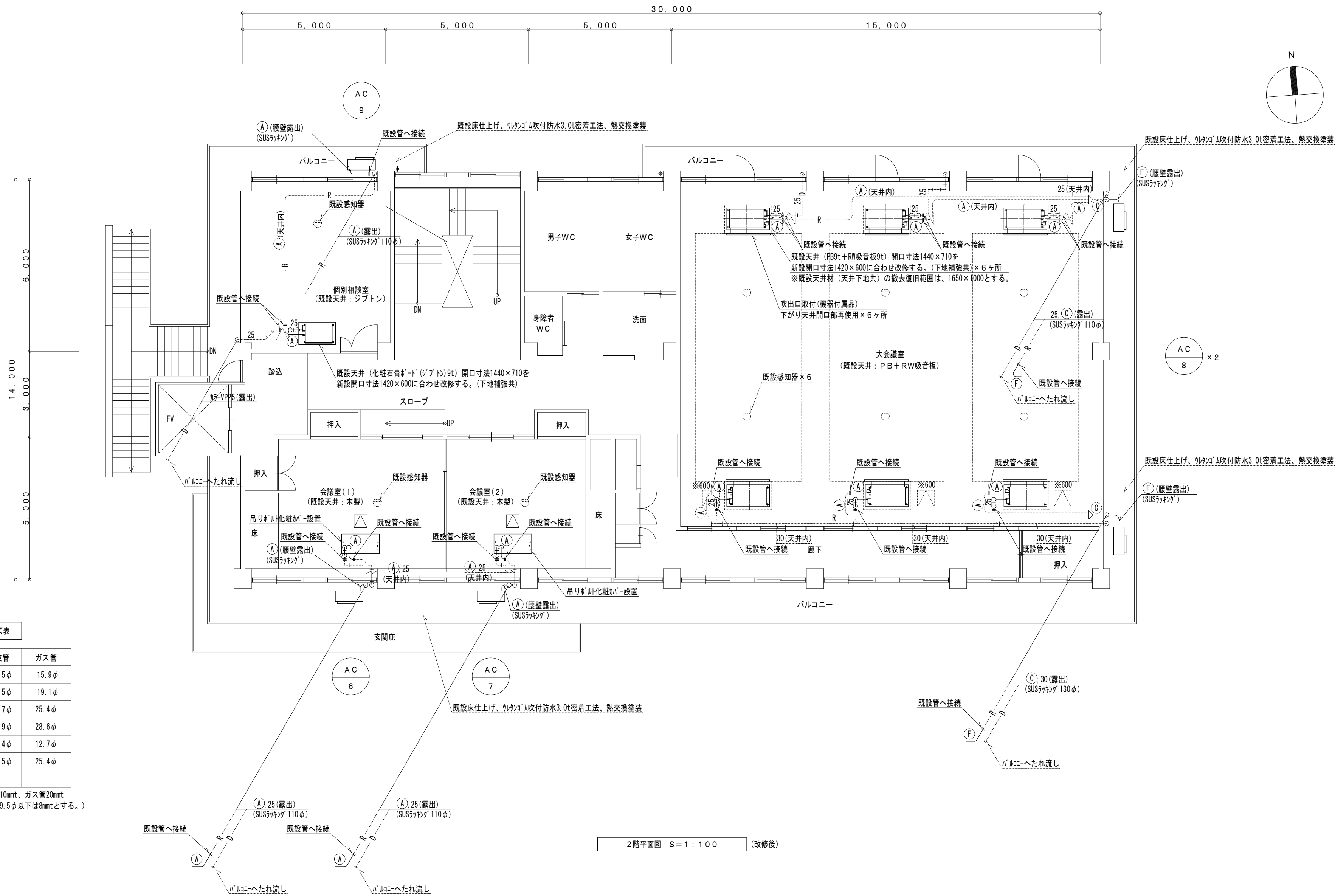
※アクティブフィルターが必要な場合は、その設置に付随する配管・配線・BOX等も工事に含む。

※高調波流出電流計算書上の換算係数K<sub>i</sub>は1.8以下の機器を選定する事。

※冷媒配管既設再使用のため、対応可能な機種とする事。





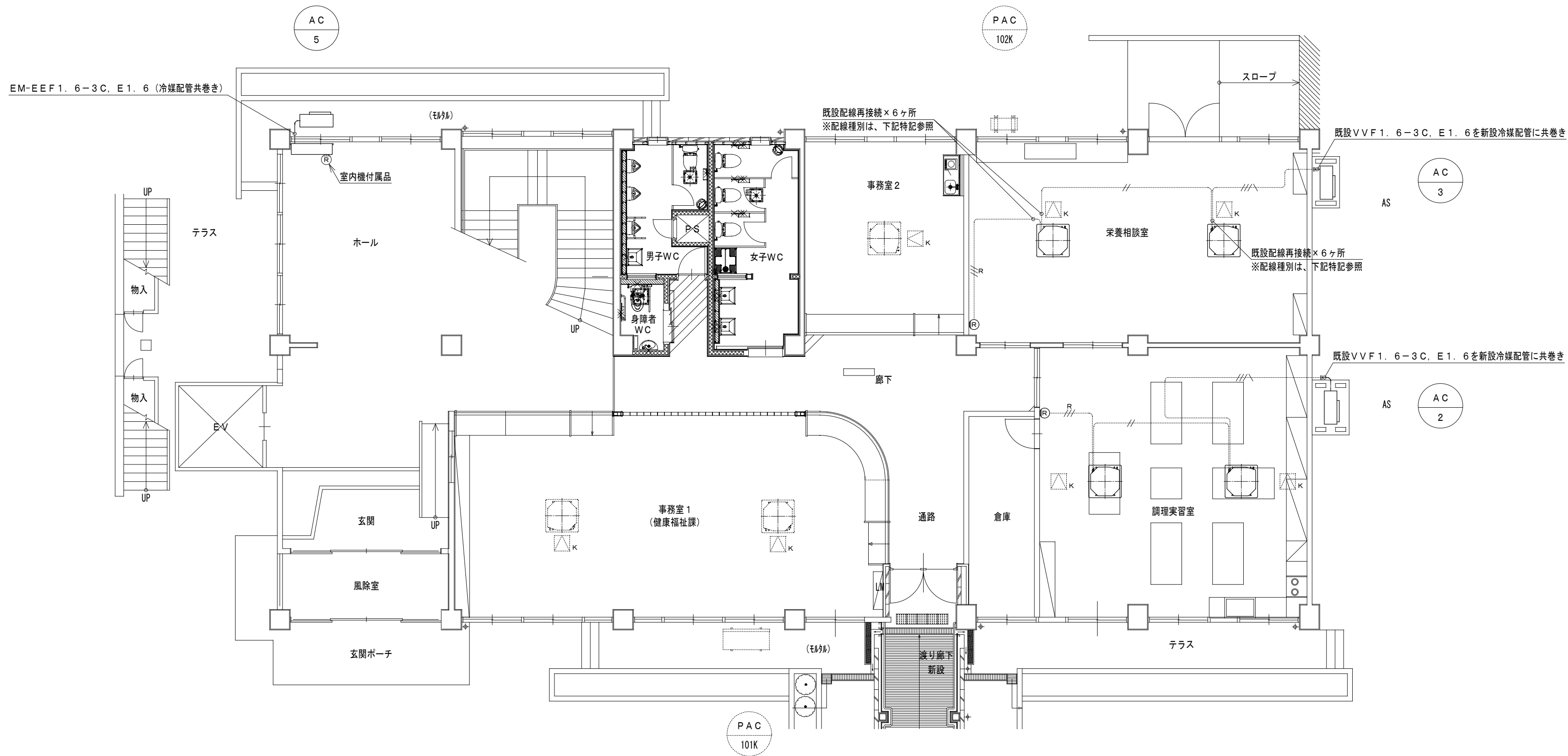


冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
A	9.5φ	15.9φ
B	9.5φ	19.1φ
C	12.7φ	25.4φ
D	15.9φ	28.6φ
E	6.4φ	12.7φ
F	9.5φ	25.4φ

※保温厚：液管10mmt、ガス管20mmt  
(但し、液管9.5φ以下は8mmtとする。)

2階平面図 S=1:100 (改修後)



特記（二次側電気図面共通）

1. 図中記入なき配線は、下記による

———//———	既設VVF1.6-3C, E1.6	冷媒配管共巻き（内外渡り配線）
———//———	既設VVF1.6-3C, E1.6	冷媒配管共巻き（内外渡り配線）
———//———	既設C.VV1.25-3C	冷媒配管共巻き（リモコン配線）
———R———	既設C.VV1.25-3C	天井内（リモコン配線）

2. 図中太線部分は本工事部分を示し、細線点線部分は既設部分を示す。

3. 図中の二次側電気工事の仕様は、製造者を特定しないものとし、参考とする。

4. 図中 (R) 印は、ワイヤードリモコン（既設2個用スイッチボックスに取付）を示し、新設とする。

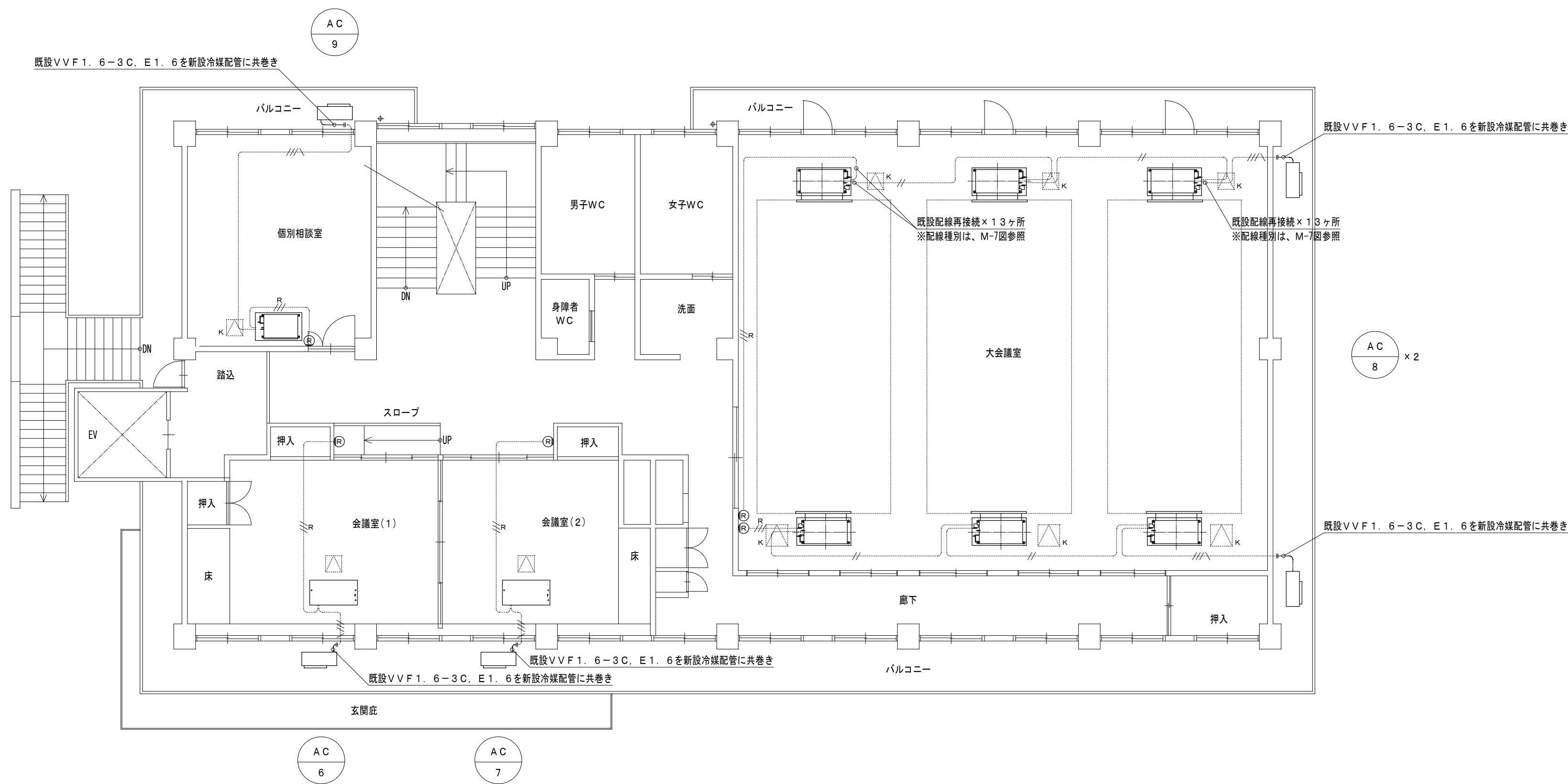
5. 図中 (K) 印部分は既設天井点検口を示し、(K) 印部分は本工事で設置天井点検口を示す。

6. 配線は既設再使用とし、新設室内機に合わせて再接続とする。

7. 既存施設を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、既設設備を十分確認して、施設の運用に支障を来さないよう施工すること。

1階平面図 S=1:100 (改修後)





2階平面図 S=1:100 (改修後)

特記事項

※表中\\\\は、撤去又は、取外し・引渡し機器を示し、図中特記による。  
※既設機器能力は現場にて再確認し、機器表と異なる場合は、監督員へ報告する事。

冷暖房機器表

(撤去)

記 号	名 称	仕 様 ・ 付 属 品	数 量	備 考
PAC-101K	空冷ヒートポンプエアコン	形式 4方向天井吊り形、74W同時運転 (高調波対策仕様)	1	1階事務室1
(既 存)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 28.0kW		品番：FDTPV2803HPG3G
		暖房能力 31.5kW		
		圧縮機 3φ-200V × 4.7kW		
		付属品 ワイヤードリット、化粧パネル×2、平架台(溶融亜鉛メッキ)、74W74W、ドレンパイプ×2、		
		緑石基礎、他付属品共		
AC-2K	空冷ヒートポンプエアコン	形式 4方向天井吊り形、74W同時運転	1	1階調理実習室
(撤 去)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 28.0kW (14.0kW×2)		品番：FDTJ280HP202
		暖房能力 30.0kW (16.0kW×2)		参考重量：190kg(外)、37kg(内)
		圧縮機 3φ-200V×7.5kW		冷媒：R22 7.1kg
		付属品 平架台(L=100×50、1350×690×300H、BP150角、溶融亜鉛メッキ)、		
		ワイヤードリット、ドレンパイプ×2、自動昇降パネル×2、		
		吹出SUS製防雪フード、他付属品共		
AC-3K	空冷ヒートポンプエアコン	形式 4方向天井吊り形、74W同時運転	1	1階栄養相談室
(撤 去)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 14.0kW (7.1kW×2)		品番：FDTJ140HP202
		暖房能力 16.0kW (8.0kW×2)		参考重量：107kg(外)、31kg(内)
		圧縮機 3φ-200V×3.75kW		冷媒：R22 3.38kg
		付属品 ワイヤードリット、自動昇降パネル×2、平架台300H(溶融亜鉛メッキ)、		
		ドレンパイプ×2、他付属品共		
PAC-102K	空冷ヒートポンプエアコン	形式 4方向天井吊り形	1	1階事務室2
(既 存)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 8.0kW		品番：FDTPV804H4
		暖房能力 9.0kW		
		圧縮機 3φ-200V × 1.8kW		
		付属品 ワイヤードリット、化粧パネル、平架台(溶融亜鉛メッキ)、緑石基礎、		
		他付属品共		
AC-5K	空冷ヒートポンプエアコン	形式 床置形	1	1階ホール
(撤 去)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 22.4kW		品番：FDFJ224HD2
		暖房能力 25.0kW		参考重量：175kg(外)、101kg(内)
		圧縮機 3φ-200V×5.5kW		冷媒：R22 4.95kg
		付属品 平架台(L=100×50、1350×690×300H、BP150角、溶融亜鉛メッキ)、		
		木台、吹出SUS製防雪フード、他付属品共		
AC-6K	空冷ヒートポンプエアコン	形式 天吊形	1	2階会議室(1)
(撤 去)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 8.0kW		品番：FDEJ80H202
		暖房能力 9.0kW		参考重量：76kg(外)、27kg(内)
		圧縮機 3φ-200V×1.9kW		冷媒：R22 2.38kg
		付属品 ワイヤードリット、ドレンパイプ、平架台300H(溶融亜鉛メッキ)、付属品共		
AC-7K	空冷ヒートポンプエアコン	形式 天吊形	1	2階会議室(2)
(撤 去)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 6.3kW		品番：FDEJ63H202
		暖房能力 7.1kW		参考重量：71kg(外)、27kg(内)
		圧縮機 3φ-200V×1.7kW		冷媒：R22 1.87kg
		付属品 ワイヤードリット、ドレンパイプ、平架台300H(溶融亜鉛メッキ)、付属品共		

記 号	名 称	仕 様 ・ 付 属 品	数 量	備 考
AC-8K	空冷ヒートポンプエアコン	形式 1方向天井吊り形、174W同時運転	2	2階大会議室
(撤 去)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 22.4kW (8.0kW×3)		品番：FDTJ224HT202
		暖房能力 25.0kW (9.0kW×3)		参考重量：175kg(外)、37kg(内)
		圧縮機 3φ-200V×5.5kW		冷媒：R22 4.95kg
		付属品 平架台(L=100×50、1350×690×300H、BP150角、溶融亜鉛メッキ)、		
		ワイヤードリット、ドレンパイプ×3、下がり天井用吹出口×3、		
		吹出フード×3、吸込パネル×3、他付属品共		
AC-9K	空冷ヒートポンプエアコン	形式 1方向天井吊り形	1	2階個別相談室
(撤 去)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 8.0kW		品番：FDTJ80H202
		暖房能力 9.0kW		参考重量：76kg(外)、37kg(内)
		圧縮機 3φ-200V×1.9kW		冷媒：R22 2.38kg
		付属品 ワイヤードリット、ドレンパイプ、化粧パネル、平架台300H(溶融亜鉛メッキ)、		
		付属品共		
RAC-1K	ルームエアコン	形式 壁掛形	1	2階会議室(2)
(取外し・引渡し)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 7.1kW		品番：RAS-VL71L2(W) (内)
		暖房能力 8.5kW		;RAC-VL71L2 (外)
		圧縮機 1φ-200V×1.9kW		参考重量：41.5kg(外)、17kg(内)
		付属品 フッリフ基礎、他付属品共		冷媒：R32 1.87kg

既設管 凡例 (※図中特記を優先する。)

記 号	名 称	備 考
— R —	冷媒管	断熱材被覆銅管
— D —	ドレン管	VP

※管種等は現場にて再調査の事。

既設保温材質

※保温材質は、現場にて再調査の事。

1. 冷媒管 (外装) 屋外露出 SUSラッキング
2. ドレン管 天井内 グラスウール + アルミガラスクロス化粧箇

特記事項

(撤去共通)

※図中\\\\は、撤去又は、取外し・引き渡し部を示し、図中特記による。

但し、壁内・RC内等の撤去不可能な配管は、そのままとする。

※図中 ▢ は、既設天井点検口(450×450)を示す。(図中「※600」は、600×600を示す。)

※図中「AS」部は、既設アスファルト舗装部分を示す。

※施工に先立ち、既設各配管等の口径・ルート、システム、運用方法等を現地確認した上で施工する事。

※機器等の撤去後、アンカーボルトが残る場合、アンカーボルト切削の上鎖止め処理を行う事。

※既設配管支持材等撤去部のボルト穴穴埋め補修は、本工事とする。(仕上げ補修共)

※冷媒ガスの処分は、改正フロン法に基づき適正に処分する事。

※2階バルコニーの室外機架台撤去部は、既設に合わせ防水補修を行う事。

※撤去機器・配管等は、法令を遵守し適切に撤出・処分を行う事。

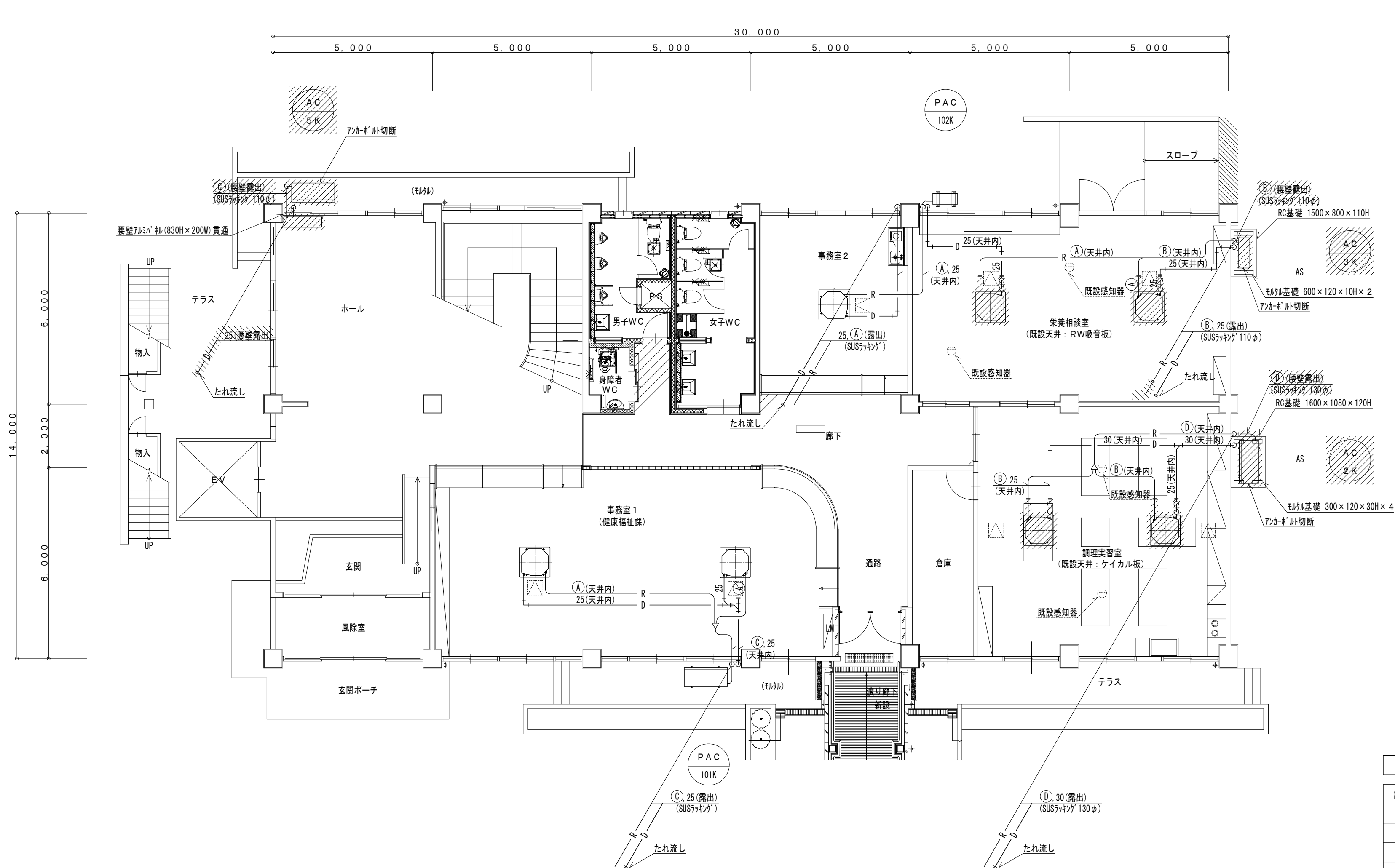
※既存建物を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、必要に応じて仮設を行い、既設設備を十分確認して施工する事。

また、冷暖房等を停止できる期間を施設側と協議し、工事時期を調整して施工する事。

アスベストについて

※今回工事の対象となる場所の天井材(ジブトン、RW吸音板)は、73v1は含有されていない物として撤去・処分を見込んでいる。(設置年代より確認済み(分析不要))

※73v1含有の可能性がある物を改修する場合は、監督員に報告する事。

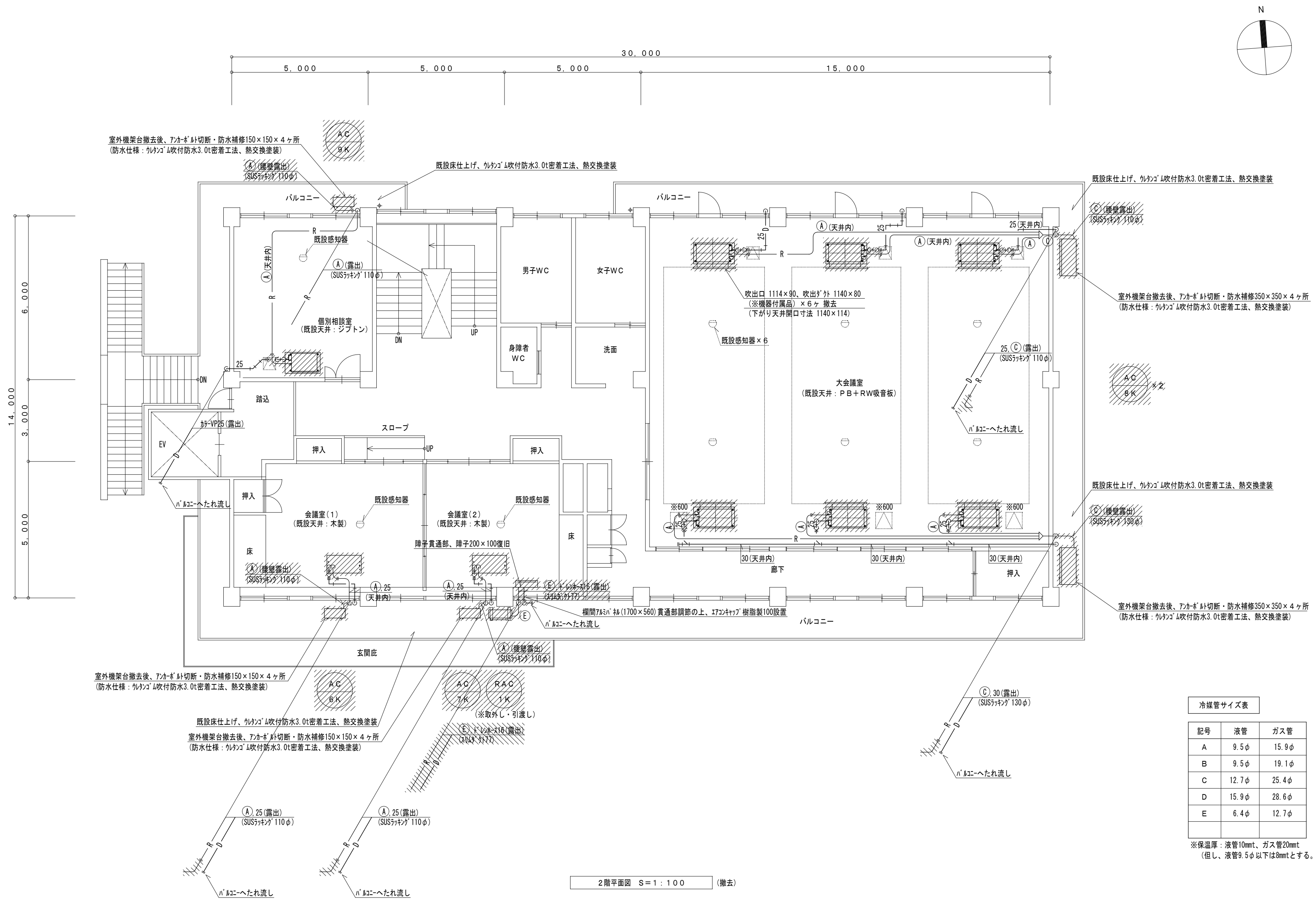


1階平面図 S=1:100 (撤去)

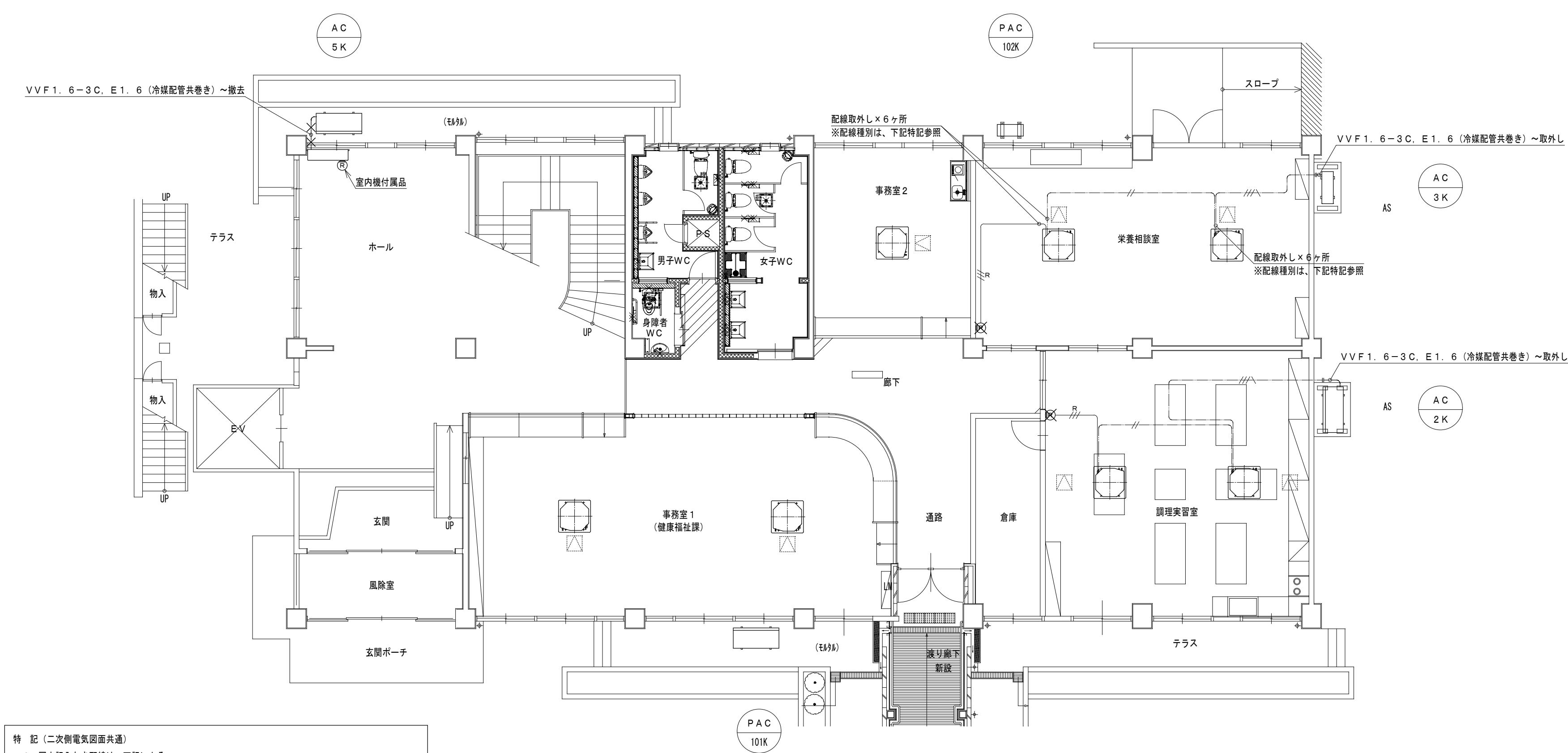
冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
A	9.5φ	15.9φ
B	9.5φ	19.1φ
C	12.7φ	25.4φ
D	15.9φ	28.6φ
E	6.4φ	12.7φ

※保温厚：液管10mmt、ガス管20mmt  
(但し、液管9.5φ以下は8mmtとする。)

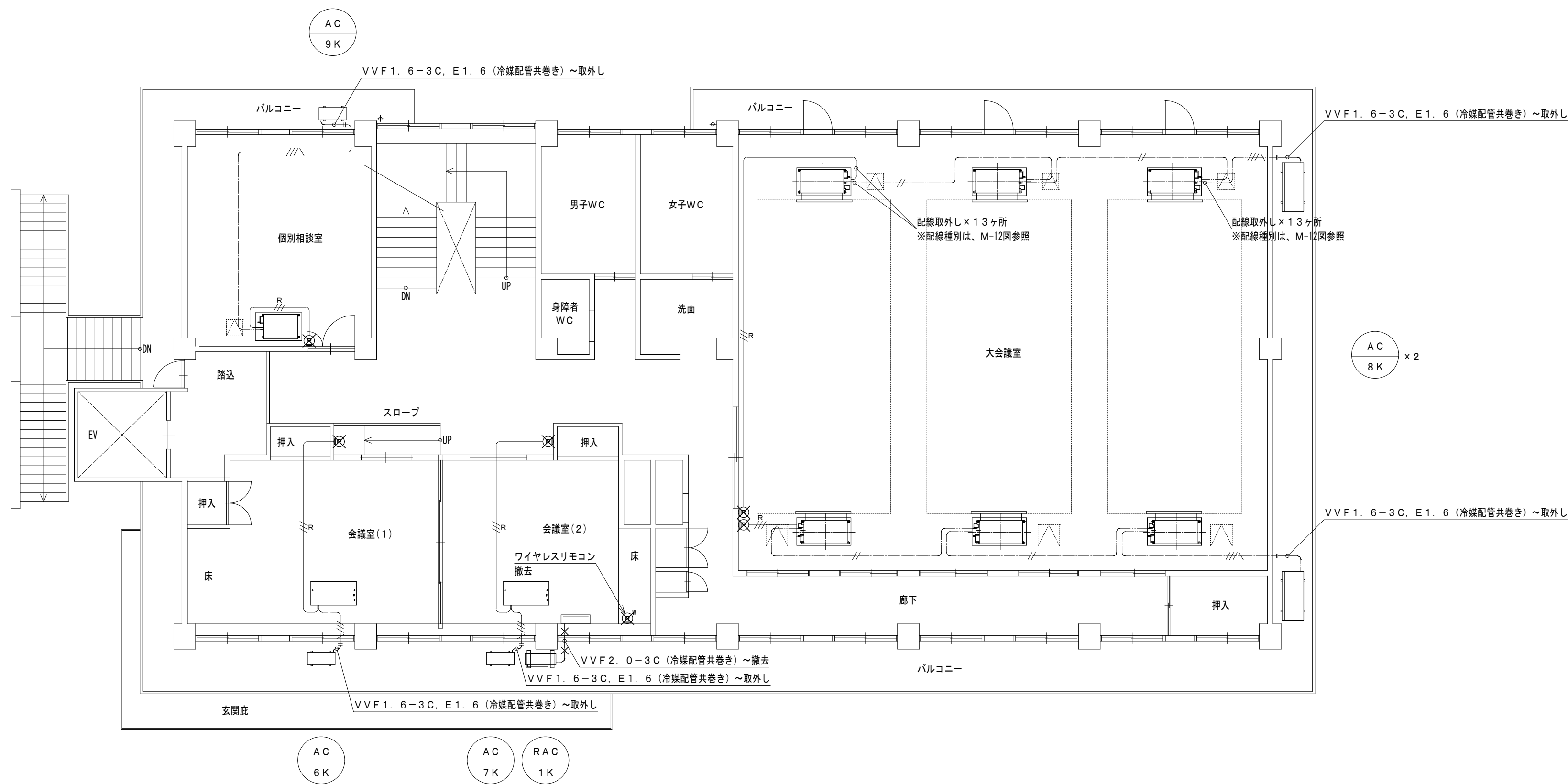


冷媒管サイズ表		
記号	液管	ガス管
A	9.5φ	15.9φ
B	9.5φ	19.1φ
C	12.7φ	25.4φ
D	15.9φ	28.6φ
E	6.4φ	12.7φ
※保温厚：液管10mmt、ガス管20mmt (但し、液管9.5φ以下は8mmtとする。)		



- 特 記（二次側電気図面共通）
1. 図中記入なき配線は、下記による
- |          |                           |                 |
|----------|---------------------------|-----------------|
| ———//——— | VVF1. 6-3C, E1. 6         | 冷媒配管共巻き（内外渡り配線） |
| ———//——— | VVF1. 6-3C, E1. 6         | 冷媒配管共巻き（内外渡り配線） |
| ———//——— | CVV1. 25 <sup>□</sup> -3C | 冷媒配管共巻き（リモコン配線） |
| ———//——— | CVV1. 25 <sup>□</sup> -3C | 天井内（リモコン配線）     |
2. 図中 (R) 印は、ワイヤードリモコンを示し、撤去する。（スイッチボックスは、再使用とする。）
3. 図中 X 印部分は撤去部分を示す。
4. 図中 [ ] 印は、既設天井点検口を示す
5. 既存施設を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、既設設備を十分確認して施工すること。

1階平面図 S=1:100 (撤去)



2階平面図 S=1:100 (撤去)



有限会社 亀山設計  
鳥取県米子市両三柳724番地11  
一級建築士事務所 登録第30-1356号

CHECK

亀山

DRAWING

深澤

縮尺

A2: 1:100

設計年月日

R4.2

工事名称

保健センター空調改修工事

図面名称

冷暖房設備(二次側電気) 2階平面図(撤去)

図面番号

M-13

NO



電気設備工事仕様書

I. 工事概要

1 工事場所

琴浦町大字徳万

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	保健センター	RC	2	854.88	( 1 ) 項 ロ	
2					( ) 項	
3					( ) 項	
4					( ) 項	
5					( ) 項	

3 工事種目

( ㊦ ) 印の付いたものが対象工事種目

工事種目	番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
● 電 灯 設 備								
㊦ 動 力 設 備	○							
● 電 熱 設 備								
● 雷 保 護 設 備								
● 受 変 電 設 備								
● 電 力 貯 蔵 設 備								
● 発 電 設 備								
● 構内情報通信設備								
● 構内交換設備								
● 情報表示設備								
● 映像・音響設備								
● 拡声設備								
● 誘導支援設備								
● テレビ共同受信設備								
● 監視カメラ設備								
● 駐車場管制設備								
● 防犯・入退室管理設備								
● 火災報知設備								
● 中央監視制御設備								
● 医療関係設備								
● 機械設備工事								
● 建築工事								
● 構内配電線路								
● 構内通信線路								
● テレビ電波障害防除設備								

4 設備概要

( 本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。 )

㊦ の付いたものを適用する。

電 灯 設 備	● 電 気 方 式	幹線 ● 単相3線式100／200V ● 直流2線式100V 分岐 ● 単相2線式 ( ● 100V ● 200V ) ● 直流2線式100V 光源 ● 蛍光灯 ● 白熱灯 ● LED 電源 ● 電池内蔵形 ● 電源別置形 ● 避難口 ● 階段通路 ● 廊下通路 ● 室内通路
	● 非 常 用 照 明 器 具	
動力設備	㊦ 電 気 方 式	幹線 ● 三相3線式200V ● 単相2線式200V ● 単相3線式100／200V 分岐 ㊦ 三相3線式200V ● 単相2線式 ( ● 100V ● 200V )
	● 雷 保 護 設 備	● 突針 ● 棟上げ導体 ● その他金属体 ( ) ● 建築構造体利用 ● 引下げ導線 ● 建築構造体利用 ● 接地極埋設
受変電設備	● 電 気 方 式	高圧 三相3線式 6. 6kV 低圧 ● 三相3線式200V ● 単相3線式100／200V ● 単相2線式 ( ● 100V ● 200V )
	● 契 約 電 力	改修工事 既存設備 ● kW 新営工事 ● 100kW未満 ● 100kW以上500kW未満 ● 500kW以上
	● 設 備 方 式	● 屋内形 ● 屋外形
	● 機 器 類	● キュービクル式配電盤 ( ● PF形 ● CB-1形 ● CB-2形 ) ● 高圧スイッチギア、変圧器盤 (CB-3形) 変圧器 三相 ● 単相 ● 、スコット kVA ● 油入 ● モールド 主遮断器 ● 限流ヒューズ ● VCB
電力貯蔵設備	● 直 流 電 源 装 置	用 途 ● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用
	● 交 流 無 停 電 電 源 装 置 (UPS)	蓄 電 池 ● HS形鉛蓄電池 ● MSE形鉛蓄電池 ● ( Ah) 形 式 ● 機柱によるUPS ● 簡易形UPS 用 途 ● 電算機用 ●

II. 特記仕様

1 一般事項

( 1 ) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち ㊦ 印の付いたものによる。  
㊦ 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (平成31年版) (以下、「標準仕様書」という。)  
㊦ 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (平成31年版) (以下、「改修標準仕様書」という。)  
㊦ 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (平成31年版) (以下、「標準図」という。)  
( 2 ) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針 (令和元年版) 」 (以下「監理指針」という。 ) を適用する。  
( 3 ) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

( 1 ) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。  
( 2 ) 特記事項のうち選択する事項は ㊦ の付いたものを適用する。  
㊦ の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。 ㊦ と ㊦ の付いた場合は共に適用する。  
( 3 ) 一般共通事項のうち ( 1, 2, 5, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 31 ) 項は、● 建築 ㊦ 機械設備 工事仕様書による。

12 完 成 図 等

一 般 共 通 事 項

⑬ 他 工 事 と の 取 合 い

14 土 工 事

⑮ 電 線 類

⑯ 電 線 本 数 ・ 管 路 等

17 厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ

18 露 出 配 管 の 塗 装

19 波付硬質合成樹脂管 ( FEP ) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。

20 フラッシュプレート の材質

21 カバープレートの用途別表示

22 耐 震 施 工

23 屋 上、屋 側 の 支 持 金 物 等

24 結 露 防 止

25 補 修 な ど

26 は つ り

27 は つ り 工 事 における非破壊検査

完成後は、速やかに次の完成図書を提出すること。

区 分	名 称	部 数
※ 完成図原図	完成図 ※ 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1 部
※ 完成図 2 つ折製本	※ 完成図原図の陽面複写紙 ※ 完成図原図の陽面複写紙 (縮小版) ● 施工図原図の陽面複写紙	※ 3 部 ● 部
※ 完成図 ● A 4 版黒表紙製本 ※ A 4 版市販ファイル	※ 完成図原図の陽面複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 2 部 ● 部
※ 保守用説明書 A 4 版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2 部 ● 部
※ 保証書		1 部
※ 官公署届出書類		1 部

他 工 事 と の 取 合 い

電気設備 機械設備 建 築

● コンクリート壁、床、梁貫通部	補 強	●	●	※
	スリーブ・箱入	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強			●	※
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (くぎ処理共)			※	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地			※	●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠	※	●	●
	補 強	●	●	※
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強			●	※
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切 り 込 み	※	●	●
	補 強	●	●	※
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ			●	※
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット (蓋を含む)			●	※
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線			●	※
㊦ 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線			●	※
● テレビアンテナ	基 礎	●	●	※
	アンカーボルト	※	●	●
㊦ 天井点検口		●	㊦	※
● 自立型制御盤の基礎			※	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋 内 ・ 屋 外 設 置	※	●	●
	屋 上 設 置	●	●	※

埋 め 戻 し 土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類 ( ) ● 真砂土 ( )  
建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積  
本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。  
EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。  
通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。  
盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。  
ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。  
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。  
メッキ付着量 300g/㎡以上とする。( ※ 屋外 ● )  
塗装する部分 ● 居室、廊下等 ● 機械室 ● 屋外 ●  
波付硬質合成樹脂管 ( FEP ) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。  
● 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製  
シール等を貼付する。

設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び周解説」 (平成8年版・建設大臣官房官庁営繕部監修) によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」 (国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修) による。  
1) 設計用水平地震力  
機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。  
設計用標準水平震度

設 置 場 所	機 器 種 別	● 特定の施設		● 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階注、屋上及び塔屋	機 器			1. 5	1. 0
	防振支持の機器	2. 0		2. 0	1. 5
	水 槽 類			1. 5	1. 0
中 間 階	機 器			1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5		1. 5	1. 0
	水 槽 類			1. 0	0. 6
地 下 及 び 1 階	機 器			0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0			
	水 槽 類	1. 5		1. 0	0. 6

注) 上層階の定義は次 (次頁) による。  
2 ～ 6 階建：最上階、7 ～ 9 階建：上層2階、10 ～ 12 階建：上層3階、13 階以上：上層4階  
重要機器 ( ● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換機 ● 直流電源装置 ● UPS装置  
● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 )  
2) 設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。  
● ステンレス製 ( ) ● 溶融亜鉛メッキを施した鋼材  
外気に向する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。  
工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。  
既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。  
探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ●

有限会社 亀 山 設 計

鳥 取 県 米 子 市 両 三 柳 7 2 4 番 地 1 1  
一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 第 3 0 - 1 3 5 6 号

CHECK

DRAWING

縮 尺

A2: — —

設計年月日

R 4 . 2

工事名称

保健センター空調改修工事

図面番号

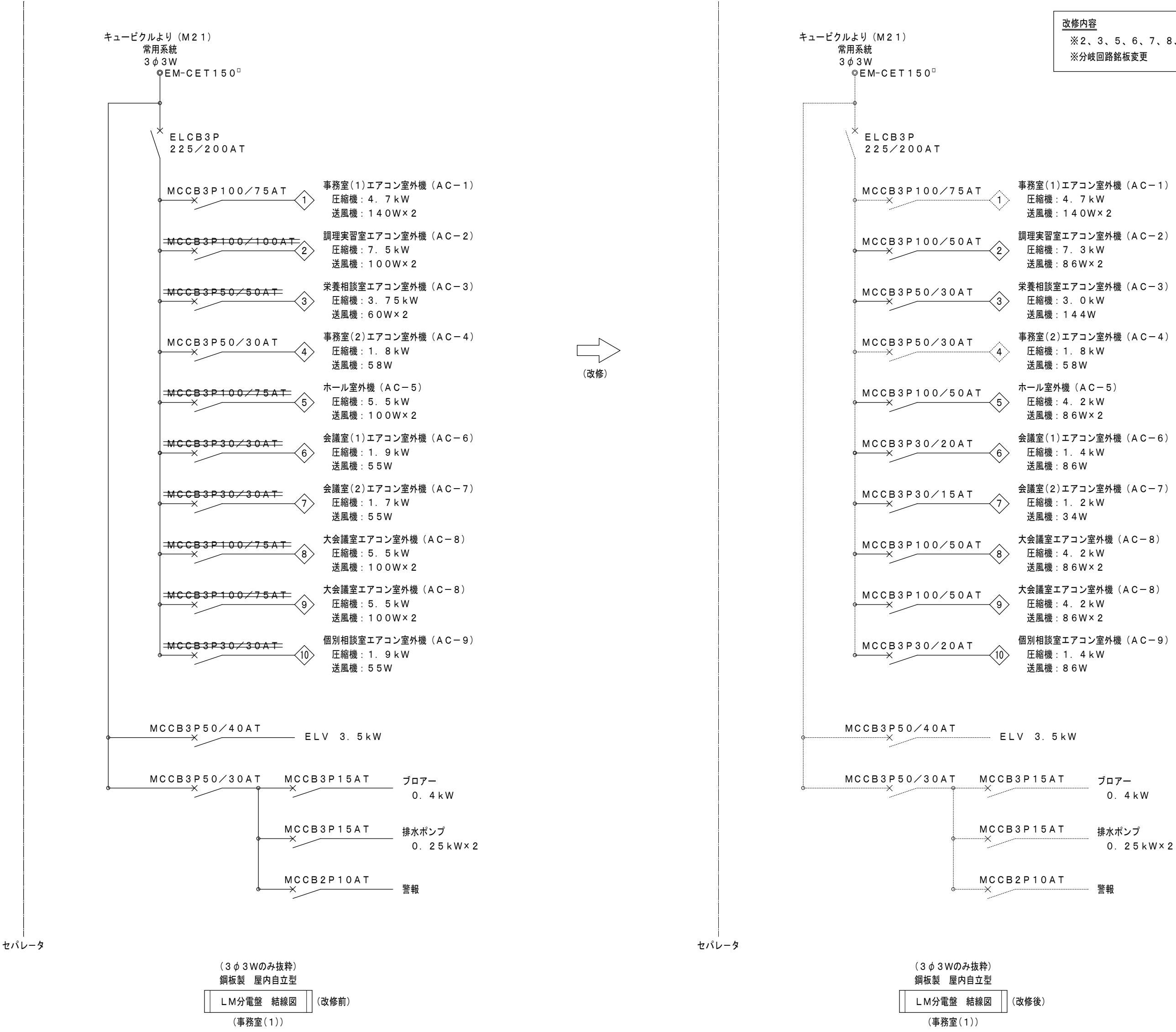
E - 1 / 7

図面名称

電気設備工事特記仕様書 ( 1 )

NO



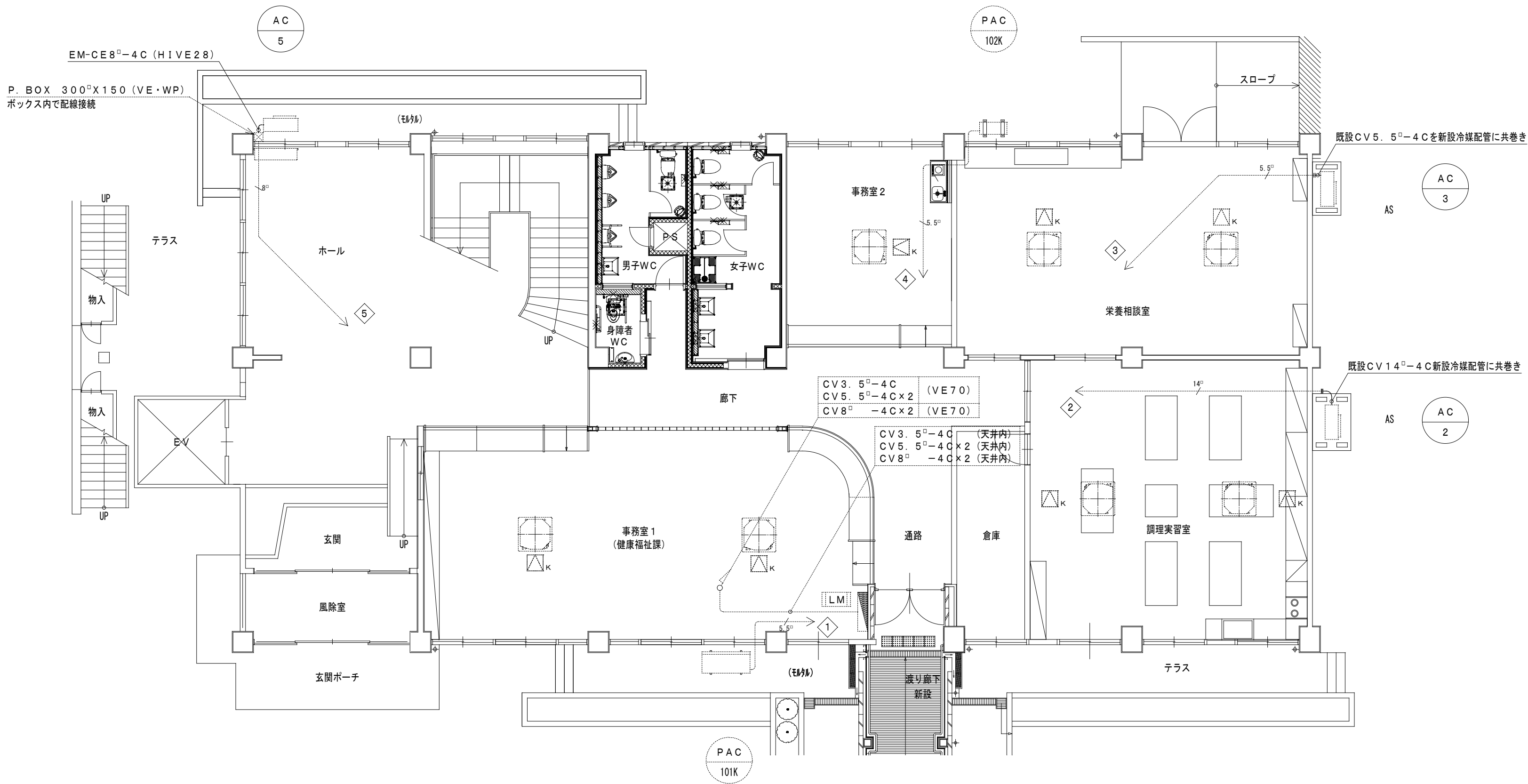


改修内容

※2、3、5、6、7、8、9、10回路ブレーカー取替  
※分岐回路銘板変更

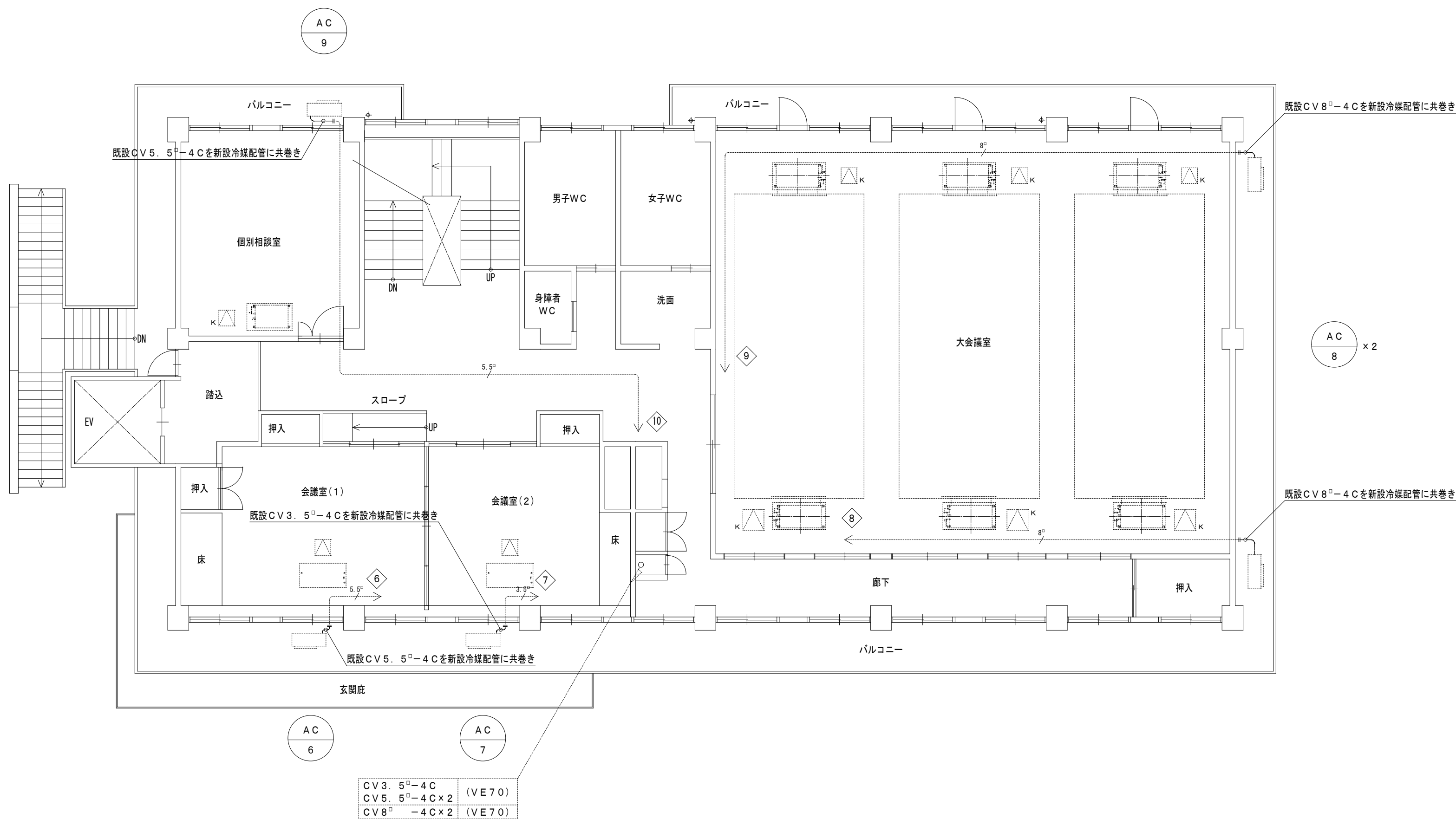
→

(改修)

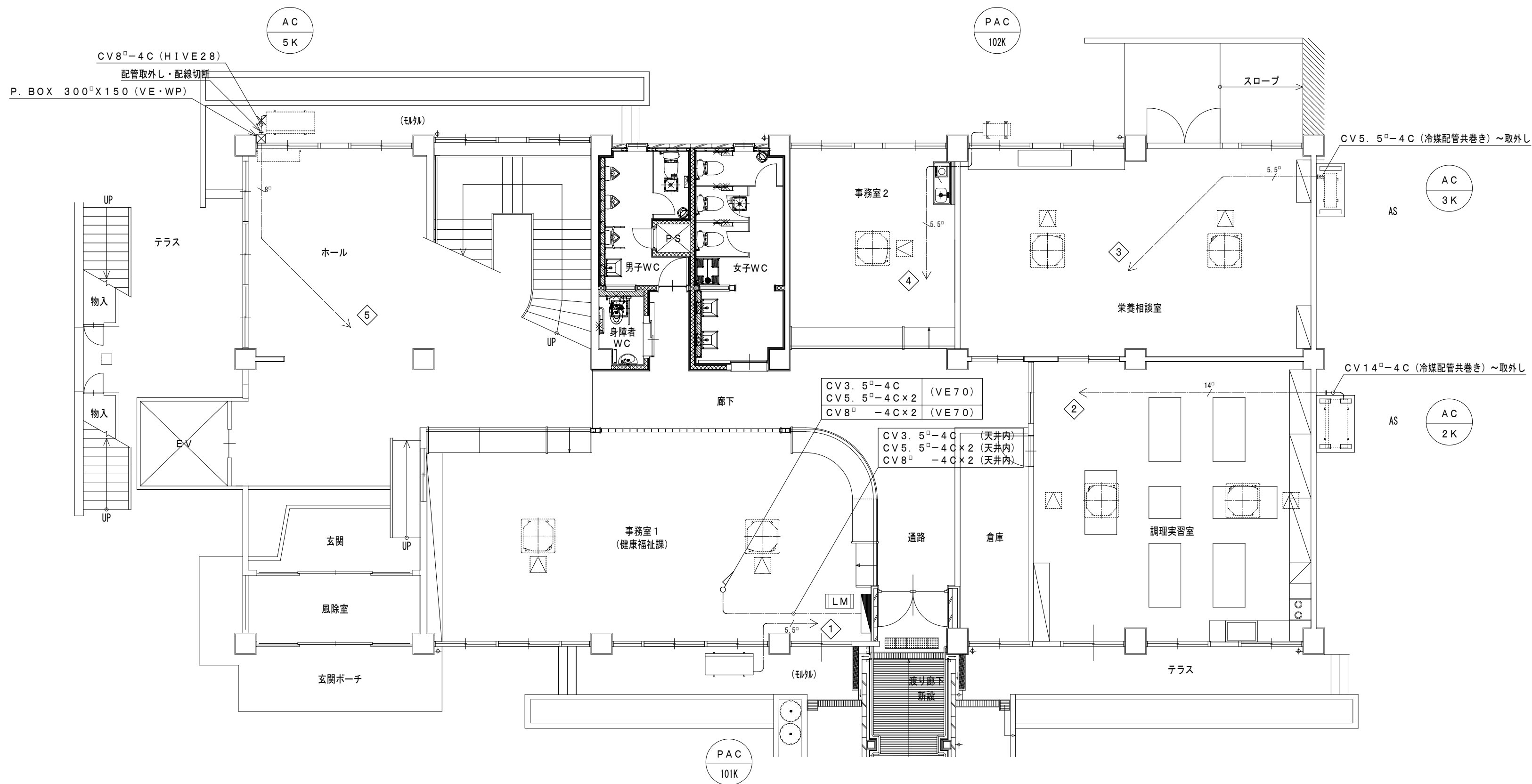


- 特 記
- 図中記入なき配線は、下記による  
3.5" 既設CV3. 5" - 4C 天井内  
5.5" 既設CV5. 5" - 4C 天井内  
8" 既設CV8" - 4C 天井内  
14" 既設CV14" - 4C 天井内
  - 図中太線部分は本工事部分を示し、細線点線部分は既設部分を示す。
  - エアコン室外機への接続部分は、金属製可とう電線管にて保護すること。
  - エアコン用ブレーカ及びケーブルサイズは、機械設備採用メーカーの仕様を確認の上、取替が必要な場合は受注者の負担にて取替とすること。
  - 図中 印部分は既設天井点検口を示し、 印部分は本工事（機械設備）設置天井点検口を示す。
  - 既存建物を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、既設設備を確認して施工すること。  
また、停電時間を最小限に出来るよう努めること。
  - 停電作業等、施設運営に支障がある工程は、事前に日程等を施設と打合せの上行うこと。

1 階平面図 S=1:100 (改修後)



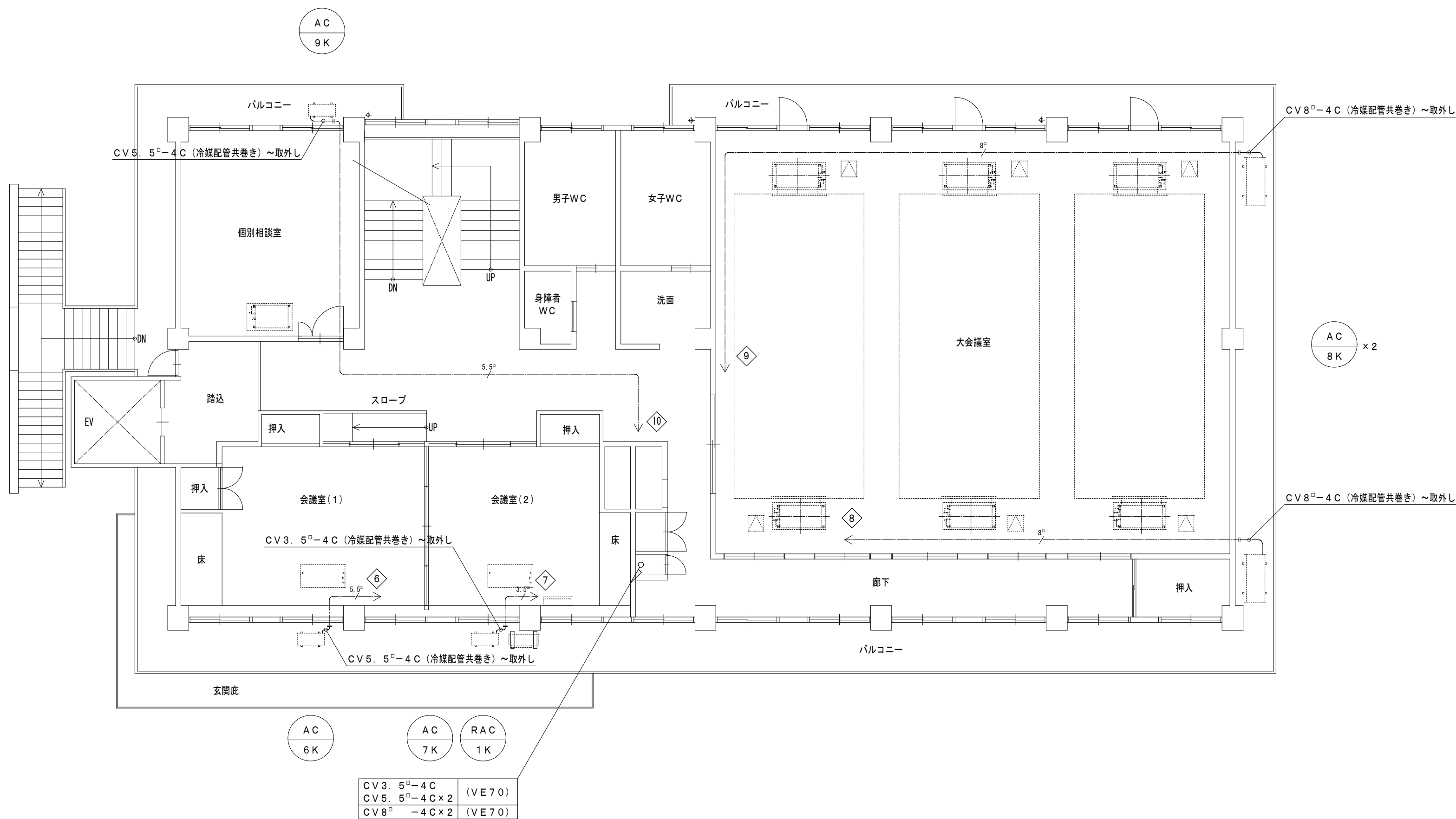
2階平面図 S=1:100 (改修後)



- 特 記
1. 図中記入なき配管・配線は、下記による  
3.5" CV3. 5" - 4 C 天井内  
5.5" CV5. 5" - 4 C 天井内  
8" CV8. - 4 C 天井内  
14" CV14. - 4 C 天井内
  2. 図中×印の配線は、撤去部分を示す。
  3. エアコン室外機への屋外配線はスリムダクト内配線のため、冷媒配管取替に伴い取外し再取付とする。
  4. 図中□印は、既設天井点検口を示す。
  5. 既設改修工事のため、既設設備を十分確認の上施工を行うこと。
  6. 既設施設を使用しながらの工事のため、施設運営に支障が無いよう日程等を担当者及び監督職員と調整の上、作業を行うこと。

1階平面図 S=1:100 (撤去)





2階平面図 S=1:100 (撤去)